

49年度の行政のあり方を示す市の予算は、一般会計36億5436万円。特別会計では、水道事業3億4002万円、国民健康保険6億6565万円、住宅改修資金貸付金3915万円、特殊道路等整備事業2300万円。合計47億2218万円。前年度の当初予算合計額44億1349万円に比べて3億869万円の増になっています。

### 一般会計

#### 市民税を

#### 引き下げ

歳入の大きなものは、国・県の支出金12億6607万円(34.6%)、地方交付税9億9900万円(27.3%)、市債は建設事業の繰り延べなどで3億9610万円(10.8%)と前年度に比べて72.3%と少なくなっています。

市税などの自主財源(市のみの収入)は、13億2028万円と全体の36.1%。市税のうち市民税は、ことしから標準税率に引き下げられました。これは標準税率の1.1倍(1割増し)で課税していたものを標準にしたもので約1800万円の減税額になるとみられています。

国・県の補助金、地方交付税、市債などの依存財源は23億3407万円と63.8%と予算の大部分をしめています。しかし、地方交付税は国税三税の32%と少なく、国はもっともっと金を出すべきだという声が強くなります。

歳出で圧倒的に多いのは民生費で17億5376万円と全体の47.9%。大きく伸びたものは衛生費50.0%、農林水産業費51.1%で福祉重点予算といえそうです。

## 予算の半分が民生費

### 老人福祉に1億7400万円

#### 社会福祉

■おとしよりと子どもを大切にしよう——。総予算のうち47.99%、17億5376万円が民生費で占められています。

■まず、おとしよりが安心して暮らせるため老人ホームへの扶助として、清風園50人など特別養護老人ホーム3290万円。千松園など20人のため713万円。

老人医療費は、75歳以上の人は全員、70歳から75歳までの人は一部、所得の多い人を除き無料で、この費用が1億2011万円。

80歳以上のおとしより約800人を対象に老人年金240万円。老人クラブへの補助207万円など、おとしよりのための福祉に1億7444万円を予算化しています。

■これからの社会をになっていく子供をすくすくと育てるため、出生児祝金75万円。これは赤ちゃんが生まれたときのお祝い金で全員の人に1000円が送られます。また国民健康保険に入っている人は、別に2万円。同和地区の人にも出生の助成金2万円が送られます。これは、いずれも1万円であったものを、4月から倍額の2万円にしたものです。

■注目されたゴミ袋の無料化は、一世帯に年間100枚を無償で配付することとし4290万円。ゴミ収集の委託2880万円、香南清掃組合への負担3045万円などじん荼処理につかう金は1億2592万円になっています。

また、し尿処理については、処理場の建設が難航。年間約312台

赤ちゃんが3人目以上からは、赤ちゃん貯金5000円のほか、児童手当として、18才未満の児童を3人以上養っていて、そのうちの1人以上が義務教育終了前の児童であるときは、1人につき月額3000円がもらえ、約450人が対象とみられ1620万円が組まれています。

また、交通事故で父母または父をなくした児童に児童手当として月額2000円で100万円。

■義務教育の児童、生徒のツベルクリン、BCGなどの予防接種を無料にするためワクチン代500万円。

■このほか、身体障害者の収容施設への委託200万円など身障者の福祉に593万円。精神薄弱者の収容施設への委託474万円など精神薄弱者の福祉に617万円。

■生活保護費は5億4249万円(市から出す金1億849万円、残りは国、県の補助金)で、生活扶助1億9136万円、医療扶助3億3251万円などとなっています。

■注目されたゴミ袋の無料化は、一世帯に年間100枚を無償で配付することとし4290万円。ゴミ収集の委託2880万円、香南清掃組合への負担3045万円などじん荼処理につかう金は1億2592万円になっています。

また、し尿処理については、処理場の建設が難航。年間約312台

#### 環境整備

■注目されたゴミ袋の無料化は、一世帯に年間100枚を無償で配付することとし4290万円。ゴミ収集の委託2880万円、香南清掃組合への負担3045万円などじん荼処理につかう金は1億2592万円になっています。

また、し尿処理については、処理場の建設が難航。年間約312台

赤ちゃん祝金  
1,000円

予防接種を  
無料で

ゴミ袋の無料  
4290万円で

## あなたの税金はこんなに……

総額四十七億二千二百十八万円のゆくえ

●49年度の予算から

\*\*\*\*\*

分の処理委託、本山町への処理委託など委託料1000万円などし尿処理のために1438万円。

■このほか、ガードレール、照明灯など交通安全施設130万円など交通安全対策に554万円。粉じん測定器、悪臭捕集機など49万円ほか公害対策に147万円。害虫駆除薬剤(一世帯180円)ネズミ駆除殺そ剤(一世帯50円)など環境衛生に478万円。

■地方改善事業は、大湊浜線に6837万円など3億4381万円で、い

ろいろの施設の設置や工事が計画されています。この事業の財源は国、県補助金2億766万円、地方債としての借入金1億3000万円、市の一般財源615万円となっています。

■市民のいのちと財産を守る消防関係では、消防の一斉指令台400万円、救急車370万円、消防ポンプ自動車380万円を購入。防火水槽2基170万円、八幡の消防屯所新設180万円などがあります。

\*\*\*\*\*

## 1億円で西部保育所建築

### 前浜～岩村間に歩行者道路

#### 産業建設

■古ビニール対策、みかん園の育成など農業振興のため1947万円。和牛共進会など畜産振興のために57万円。釣瓶線の開工工事924万円、林分(樹種)改良開発の補助360万円など林業振興1453万円。漁場沖海事業の負担60万円、漁家への小口貸付金200万円など水産業の振興のため473万円。商工会への補助150万円、貸付金500万円など商工振興827万円。ふるさとまつり、観光協会への補助など観光のために168万円。

■建設事業は野田線(野田～岩村)舗装1178万円。

■建設事業は野田線(野田～岩村)舗装1178万円。五本川排水路改修1472万円。広城市町村圏舗装改良18ヵ所5000万円。王子中央線800万円、奈路中谷線1500万円。県道前浜土佐山田線の前浜から岩村までに自転車と歩行者の専用道路をつくるため1500万円。中島島田線舗装など20件の工事1707万円。道路の新設改良に1億819万円。道路の維持補修1556万円。失業対策事業の貸金、工事用資材などに6360万円。

■保育所の新設は、年次計画で岡豊、里保育所が6月には完成しますが、ことしは西部保育所の改築が1億1010万円で行なわれます。また、過密になって入所もれのでている後免、大篠保育所は、用地問題の解決がつかず、これに全力をあげることとしています。

児童福祉施設費としては、施設の用地購入4550万円、同和地区2ヵ所の遊園地4850万円など総額で4億8207万円が予算化されました。

■災害復旧などには、47年災害のがけくずれ防災事業3500万円など砂防に4977万円。森田堰、荻野谷上井水路389万円、47年災害4612万円、48年災害575万円など道路河川の災害復旧を5593万円を取り組まれます。

#### 教育文化

■教育予算は3億521万円。遠距離通学をしている小学生の定期券代160万円。健康診断や検便料に207万円。交通安全指導服セット30万円など小学校(全校)の管理備品207万円。理科の教材141万円(4校)算数(13校)70万円など教材の備品936万円。視力測定器など中学校管理備品114万円。産振45万円理振40万円など教材備品588万円など、教育用の備品が充実されます。

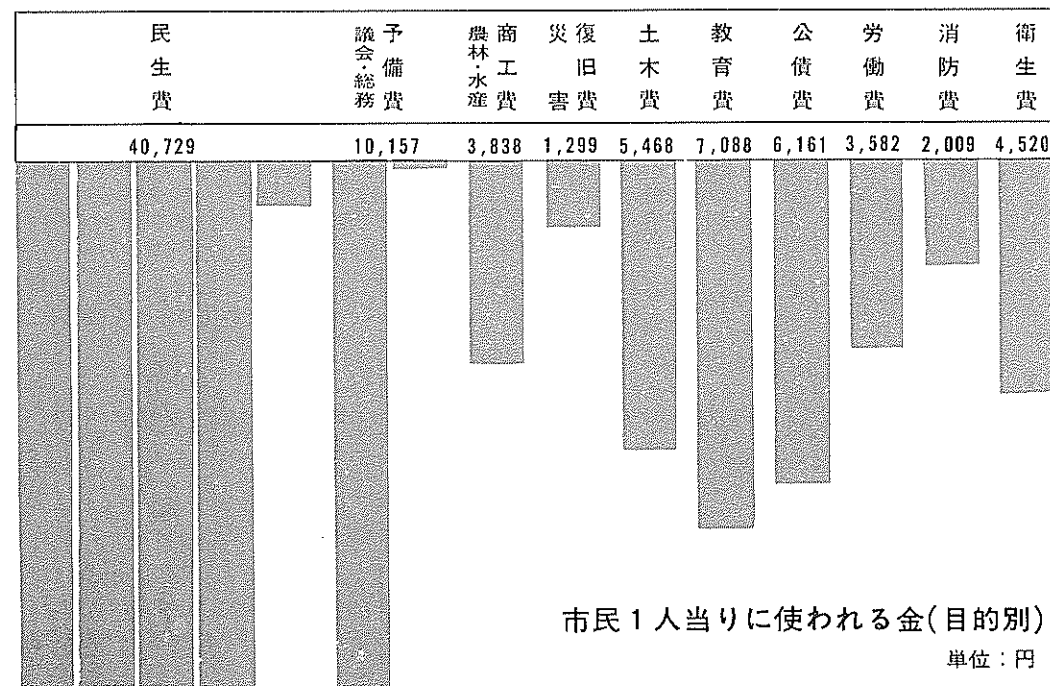
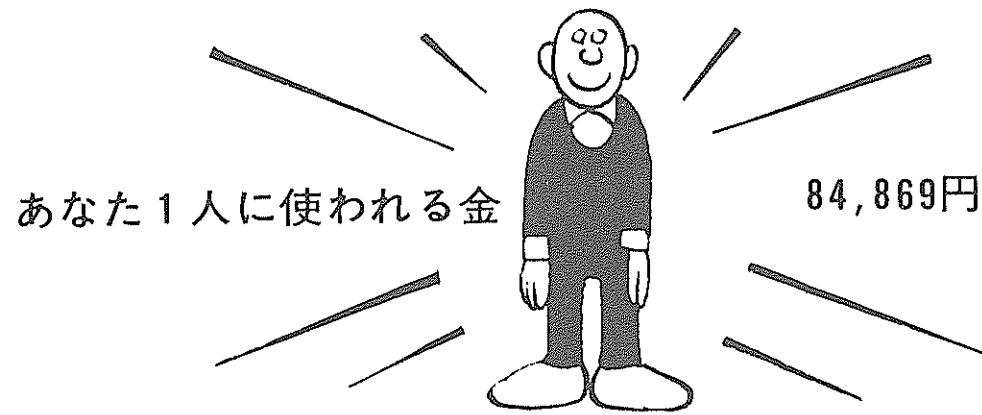
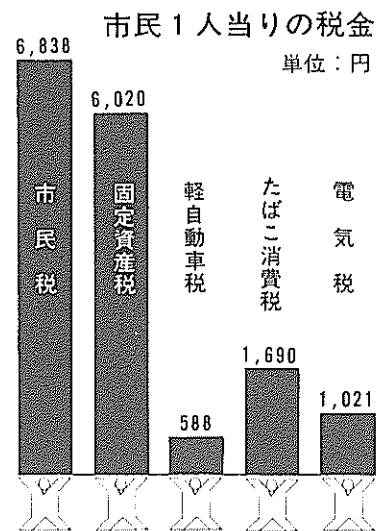
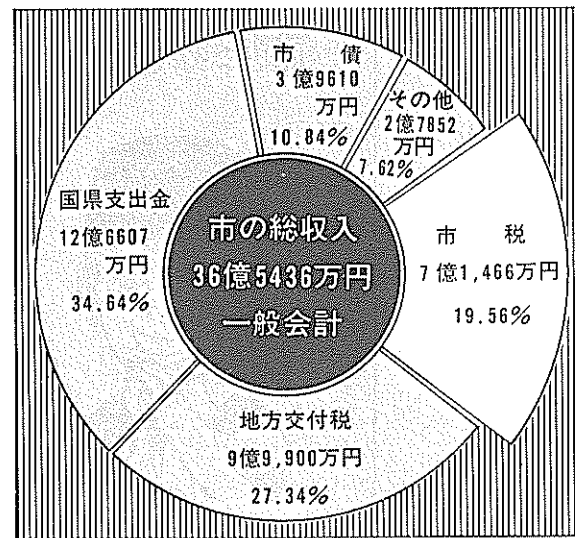
また、社会教育面では、立田の変電所を改築して青年センターにするための改修費320万円。四国一周青年のバス、明治・大正・昭和三代青年のバスにそれぞれ10万円。子供会21万円、青年学級60万円、成人教育19万円、市展86万円家庭教育24万円、高令者学級63万円、婦人教育72万円などの活動経費があります。

■同和教育振興5202万円のなかには、同和地区入学支度金194万円奨学資金1286万円。これは大学生月1万円、高校・各種学校月6000円を奨学資金とするものです。

■文化財を守り、後世につたえるため、新しく文化財保存、市史編さん費225万円も予算化されています。

道路の新設改良  
1億800万円

地方改善事業  
3億4300万円



**特別会計**

久枝～十市へ水道新設  
全世帯の40%へ給水

**水道事業**

予算額3億4002万円。前年度に比べて35%の増。これで給水戸数を800戸ふやして5,300戸とするもので、市の全世帯の40%に給水しようとするものです。

明見にも  
水道新設

■主な建設  
改良事業は、大森上水道を拡張するために2800万円。南部(久枝から十市までの海岸地帯)の広域簡易水道の新設9000万円。明見に新しく4000万円を新設。日常を拡張するため2000万円。野中の整備4747万円。前浜の給水1150万円。福生の増設515万円など、2億4867万円となっています。

収入は、水道料金4400万円など事業の収益8390万円。国・県の補助金9099万円。企業債1億660万円。一般会計からの繰り入れ1247万円などとなっています。

**国民健康保険**

助産費2万円  
葬祭費1万円

■予算額6億6565万円。前年度に比べて31.4%の伸び。歳入は国保税1億4550万円、国からの支出金4億2211万円など。歳出は療養給付が月平均4923万円と見込まれ療養諸費6億624万円。これは前年度に比べて1億4535万円の増で、ことし2月の医療費の値上げ19%によるものです。

また、赤ちゃんが生まれたときの助産費として2万円。死亡したと

きの葬祭費1万円を支給することになりました。これは前年度にくらべて2倍の金額になっています。

また、黒滝、中の川、桑の川、大改野地区の住民のため、診療車で診療する経費1300万円が直診勘定として予算化されました。

**住宅改修資金**

同和地区で不良住宅を改修するための資金の貸付けを目的とするもので、予算額3915万円。前年度の754万円に比べて509.8%の伸

**「財政・予算」ということば**

ご家庭の「家計簿」と同じです

わたしたちは、日ごろ「財政」や「予算」ということばを、しばしば目や耳にします。何となく、とっつきにくいことのように思われがちですが、これは市民のみならず、ひじょうに重要なことなのです。

わたしたちの家庭には、生活のための家計があります。また、会社には会計があるように、国や地方公共団体(都道府県や市町村)には、予算というものがあります。この予算を中心とした国や地方公共団体の活動を、一般的に「財政」と呼んでいます。

国・県・市は、わたしたち個人の方、活動にまかせてはできない仕事をするため組織されています。たとえば台風災害の復旧、教育の振興、道路、上下水道の普及、社会保障の充実などの仕事、その目的です。もちろん、これらの仕事は国や県・市とが、それぞれ決

びです。

■貸付金は120万円を限度で30世帯分3600万円などが予算化されました。歳入は市債2700万円、国の補助901万円などです。

**特殊道路等**

今年度の  
新規事業なし

■刑務所、都築紡績、空港周辺の事業を行なうために設けられた特別会計。今年度で行なう事業はありませんが、前年度の不足分を繰上充用金2300万円として予算化したものです。

められた分によって行ないません。が、このような公共的な仕事をするためには、たくさんのお金がかかります。

このお金は、国の場合は、国民の税金、タバコや酒の専売益金、国債を発行したりして集めます。

市の場合も、みなさんの税金や地方交付税、国・県の支出金、市債などで財源を得ていますが、みなさんの税金のほとんどは国に吸いあげられています。

このように、国や地方公共団体が、一方で費用を払い、他方でその財源を集める仕事を「財政」と呼んでいます。

さらに「予算」は、こうして集められたお金を、いろいろと考えながら配分して各事業を有効的に実施していくためのしくみで、各家庭の「家計簿」と同じような意味で、たいせつなことです。市の「家計簿」を話し合ひましょう。